

想いをカタチに変える 知財戦略で 産学官連携による 医療機器開発



テクノグローバル株式会社

所在地 大阪府八尾市
設立年 2006年
業種 製造業
従業員数 30人
資本金 600万円
ホームページ URL <http://www.techno-global.co.jp>



知財ポータル

窓口支援事例



重点支援事例



製造業

近畿

利用のきっかけ

★ 下請けからの脱却を目指し、開発に挑戦した初めての自社製品、壁掛け時計「iconclock」とティッシュBOX「paol」を販売するにあたり、他社による模倣防止のため、知財保護について相談。更に同時期に奈良県立医科大学との共同開発で「ヒューバー針抜針器」の開発も進めており、特許出願を考えていました。

INPIT知財総合支援窓口での支援内容

支援内容

- ① 新商品開発における知的財産の役割と重要性に関するアドバイス
- ② 意匠権取得のアドバイス
- ③ 「ヒューバー針抜針器」の特許出願及び大学との共同出願契約や実施契約の支援
- ④ 技術の秘匿戦略・営業秘密管理・技術漏洩防止による金型技術・ノウハウの保護を推進

活用した専門家

デザイン専門家 弁理士 中小企業診断士
INPIT知財戦略アドバイザー 弁護士

利用後の変化

自社で意匠登録出願とデザイン業務委託契約を締結することができました。支援頂いたおかげで独り立ちができ、非常にありがたく思っています。

また、金型技術の営業秘密管理、職務発明などの社内知財管理への関心の深まりは、「ヒューバー針の抜針器」の販売開始や、重金属をその場で測定する世界初の水質計「AQSCIL」の商品化へとつながっています。

更に、INPIT知財総合支援窓口の支援を受けているということが技術力の裏付けとなって、大学の先生方からの信頼度が高まり、大阪大学や奈良県立医科大学との共同開発がいくつも進んでいます。その中でも現在開発中の「3D-PANDA」は、CTデータを利用した安全な三次元穿刺デバイスとして特に注目を集めています。

ご利用を検討される事業者さまへ



INPIT 知財総合支援窓口では、中小企業が抱える知的財産権に関するどんな小さな課題についても、最適な各分野の専門家を派遣して、解決に向け丁寧に対応してくれます。

当社は1年間集中的に多方面の専門家の派遣を受ける INPIT の「重点支援」によって、知的財産の出願・権利化のみならず、ライセンス契約、事業戦略、海外展開、営業秘密管理、職務発明規程等、幅広く事業の成功に向けた支援を受けることができました。

「社内では当たり前なものづくりの技術が、外から見れば知的財産になる」と意識が変わり、新たな市場に挑む力になっています。

テクノグローバル株式会社 代表取締役 高田弘之様